

## 東海大学医学部付属病院にて

2018年12月から2022年3月の期間に「多発性肝嚢胞の実態調査と発症機序の解明」  
の研究に参加された患者さんおよびそのご家族の方へ  
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

\*\*\*\*\*

### 【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの試料および情報)を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

### 【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

### 【研究の概要】

対象者：先行研究「多発性肝嚢胞の実態調査と発症機序の解明(21R-323)」に参加された方のうち、将来の関連研究への利用について同意が得られている方

研究課題名：多発性肝嚢胞症における遺伝的背景の解明を目的とした遺伝子解析研究

倫理審査番号：25R180

研究期間：【許可日】～2030年3月31日

26-4.8

### 【本研究の目的・意義】

本研究の目的は、多発性肝嚢胞症患者さんを対象として遺伝子解析を行い、本邦における責任遺伝子変異の実態および未同定の遺伝的要因を明らかにすることです。

多発性肝嚢胞症では既知の責任遺伝子変異が同定されない症例も多く、とくにアジア人集団における遺伝的背景は十分に解明されていません。本研究により、病態の理解を深め、将来的な診断・治療戦略の基盤となる知見が得られることが期待されます

### 【使用する試料・情報の例】

本研究では、先行研究21R-323ですでに取得された以下の情報を使用します。

- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ 家族歴
- ・ 嚢胞の実態(個数、最大径)

- ・ 腎嚢胞の有無
- ・ 自覚症状
- ・ 経過
- ・ 治療歴
- ・ 血液検査成績（血算、プロトロンビン時間、アルブミン、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、ALP、クレアチニン、総コレステロール、総ビリルビン）
- ・ 腹部 CT 画像または MRI 画像
- ・ 遺伝子解析データ

#### [個人情報の取り扱い]

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

#### [情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

#### [研究資金・利益相反<sup>りえきそうはん</sup>について]

この研究は学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

#### [研究組織]

研究機関名：東海大学医学部付属病院

研究責任者所属・氏名：東海大学医学部内科学系消化器内科学 講師 鶴谷康太

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

#### [お問い合わせ先]

東海大学医学部付属病院

電話：0463-93-1121（代表） 内線：3337

研究責任者（代表者）：消化器内科 鶴谷 康太

#### [更新履歴]

2026年3月21日 第1版